



	機能	詳細
インプット	RGB画像	RGBセンサーで取得した垂直画像をJPGフォーマットでインポート
	事前に処理したマップ	他のPix4D製品で処理したオルソモザイク(GeoTIFF)
	マーカー	他アプリで作成したマーカー・アノテーションまたはシェイプファイルをインポートし、プロジェクトに組み込む(GeoJSON、シェイプファイル、KML)
ツールおよび機能	簡単な操作が可能なインターフェース	公安および人道支援のプロとともに開発した簡単に直感的なインターフェース
	高速マッピング	数分間で空撮画像から最新で信頼のできる高解像度2Dマップを生成
	米国国立グリッド	USNGコードまたはGPS座標のいずれかによって、特定のセルに移動する機能を備えた米国国立グリッドマップオーバーレイ
	マーカーツール	対象地点に点、線、面積マーカーを様々な色で描いてエクスポート
	計測ツール	正確な出動計画のために素早く距離や面積を計測。計測を常時表示する場合、マーカーとして保存
	比較ツール	スプリットスクリーン、もしくはダブルスクリーンを使って、異なるマップを横に並べて比較
	PDFレポートエクスポートツール	PDFレポートエクスポートツールを使って、シームレスなコラボレーションのためにマップを全てのプロジェクト関係者と共有
	エクスポートツール	プロジェクトのレイヤーを選択して、PC内の指定のフォルダーにエクスポート
	軽くて強靱	現場で使える中スペックPCで処理が可能な軽さ。Pix4Dreactはインターネット接続やクラウド処理は不要
アウトプット	オルソモザイク	長期的なドキュメンテーション、およびスムーズなコラボレーションのために直感的な現場状況の再現
	数値表層モデル(DSM)	洪水に脆弱な地域や現場の行動を支援するのに標高データを活用(GeoTIFFとしてエクスポート)
	マーカーおよび計測	対象地点にマーカーを追加し、より価値の高い、実用的な情報を取得(PDF、GeoJSON、シェイプファイルとしてエクスポート)
	PDFレポート	一つのファイルに2Dオルソモザイク、位置情報およびマーカーを簡単にエクスポートし、メール等で共有。PDFに自社のロゴや連絡先を入れカスタマイズ。
複数言語の対応	言語オプション	英語、ドイツ語、日本語、スペイン語、中国語、ポルトガル語、フランス語、イタリア語、韓国語、ロシア語

ハードウェアスペック



CPU: Intel® Core™ i3 もしくは AMD Phenom プロセッサ (以上推奨)



HD: 約 4GB HDD 空き容量



RAM: 4GB RAM (もしくは8GB推奨)



GPU: NVIDIA GeForce 2 GB RAM (以上推奨)



OS: Windows 10/macOS Catalina (10.15) (もしくはより新しいもの)